

平成30年度 SDG s に関する全国アンケート調査票

地方創生に向けた SDGs を活かしたまちづくり

本調査は、貴自治体におけるSDG s の認知度や取組度合いについてお伺いさせて頂くものです。ご回答頂きました結果は今後の政策の検討等に活用させて頂きます。ご多忙の折に恐縮ですが、ご回答頂きますようお願い申し上げます。

回答に際しては、以下の資料を適宜ご参照ください。

① 【事務連絡】平成30年度SDG s に関する全国アンケートのお願い

② 地方創生に向けた自治体SDG s 推進事業について

(https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/kankyo/pdf/jichitai_sdgs_suishin.pdf)

③ 「地方創生に向けた自治体SDG s 推進のあり方」コンセプト取りまとめ

(<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/kankyo/pdf/suiusinhyouka/dail/sankou1.pdf>)

また、選択式の項目については該当する選択肢をチェックしていただくとともに、記述式の項目はできるだけ具体的にご回答ください。

○回答期限：平成30年10月31日（水）17:00 までにご回答ください。

○内閣府担当者連絡先：内閣府地方創生推進室 高橋、鬼頭、西原 TEL：03-5510-2175

（参考1）地方自治体におけるSDG s 達成に向けた取組の推進

平成29年12月22日に閣議決定された「まち・ひと・しごと創生総合戦略 2017 改訂版」において、「地方公共団体における持続可能な開発目標（SDG s）の推進」が盛り込まれており、主な重要業績評価指標（2020 年の KPI）として、都道府県及び市区町村におけるSDG s の達成に向けた取組の割合 30% が設定されております。

また、平成30年6月15日に閣議決定された「まち・ひと・しごと創生基本方針2018」において、「我が国におけるSDG s の国内実施を促進するためには、地方公共団体及びその地域で活躍するステークホルダーによるSDG s の達成のための積極的な取組が必要不可欠である。」とし、「引き続きSDGs の理解促進のための地方公共団体に対する普及促進活動の展開やSDGs 未来都市の選定を進め、モデル事業形成への資金的支援を継続する。」としております。

これらを踏まえ、内閣府では、SDG s 未来都市及び自治体SDG s モデル事業の選定、地方創生SDG s 官民連携プラットフォームの設立、普及展開活動を通じ、SDG s を自治体業務に広く浸透させて、地方創生の深化につなげるための取組を推進しています。

(<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/kankyo/index.html>)

（参考2）平成31年度予算概算要求（平成30年8月30日に公表）

地方創生に向けた自治体SDG s 推進事業／「環境未来都市」構想推進事業概要（745 百万円）

環境未来都市・環境モデル都市の取組支援と普及促進活動により「環境未来都市」構想を推進するとともに、地方公共団体におけるSDG s 達成に向けて、先進的な取組、他の模範となる取組を支援して先進的なモデル事例を創出します。また、先進事例の取組手法や効果の分析や普及展開活動及び国外への情報発信を通じて、SDG s を地方公共団体の業務に広く浸透させ、中枢中核都市の機能強化を含め、地方創生の深化を図ります。さらに、SDG s の活用による官民連携の促進のためのF S 支援を実施します。

平成31年度も引き続き、SDG s 未来都市及び自治体SDG s モデル事業（平成30年度実績 SDG s 未来都市：29 都市、自治体SDG s モデル事業：10 事業）の選定に向けた準備を進めているところです。

（参考3）アンケート実施に係る検討会の設置

内閣府地方創生推進室では、「自治体SDGs 推進評価・調査検討会（以下「検討会」という。）」を設置し、SDG s 未来都市等の選定基準の検討、SDG s 未来都市等の選定案の作成に資する客観的評価及びSDG s 未来都市等の選定後の評価等に関する事項について調査・検討を行っています。また、検討会において、SDG s 未来都市等の選定後の評価等に関する事項に係るアンケート調査の実施及び整理・分析について検討を行い、検討会へ報告することを任務とした「SDG s に関する全国アンケート調査・検討ワーキング」を設置しています。

(<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/kankyo/kaigi/suisinhyouka.html>)

○貴自治体（回答担当者様）の情報について【必須回答】

地 方 公 共 団体情報	都道府県名			
	市区町村名（都道府県庁の場合は空欄）			
	自治体コード（5桁）			
部署名				
氏名			役職	
連絡先	メールアドレス：			
	電話番号：			

1. 回答担当者様は前回のアンケート※にお答えいただいた方でしょうか？【必須回答】

☐ 前回は回答していない

5 ☐ 前回はアンケートに回答した

☐ 前回は別の担当者がアンケートに回答した

→昨年度ご回答いただいたご担当者様とご相談の上、前回の回答内容を踏まえ、ご回答いただけますと幸いです

10 ※前回のアンケートは、平成29年8月30日実施の『SDGsに関する全国アンケート調査 地方創生に向けたSDGsを活かしたまちづくり』を指します。

2. SDGsの認知度についてお伺いします。【必須回答】

2-1. SDGsについてどの程度ご存知ですか？

15 ☐ 持続可能な開発を目指す上で経済、社会、環境の統合が重要であることを知っている。

☐ 17のゴール、169のターゲットから構成されるということを知っている

☐ 2030年までに達成すべきゴールであるということを知っている

☐ SDGsという言葉は聞いたことがある、又はロゴは見たことがある

☐ 存在を知らない（今回の調査で初めて認識した）

20

3. SDGsへの関心度についてお伺いします。【必須回答】

3-1. SDGsについてどの程度ご関心がありますか？

☐ 非常に関心がある ☐ 関心がある ☐ あまり関心がない ☐ 全く関心がない ☐ 分からない

25 4. SDGsの推進の方向性についてお伺いします。【任意回答】

4-1. SDGsを構成する17つのゴールに関連する課題のうち、貴自治体として①これまで特に力を入れて取り組んできた課題、②今後も引き続き注力したいと考えている課題③これまではあまり重視して取り組んでいなかったものの、今後は注力していきたいと考えている課題はどれですか？【事務連絡】
平成30年度SDGsに関する全国アンケートのお願い《参考情報》に記されているゴールの詳細も確認しながらご回答ください。（複数選択可）

30

ゴール		①これまで特に力を入れて取り組んできた課題	②今後も引き続き注力したいと考えている課題	③これまではあまり重視して取り組んでいなかったものの、今後は注力していきたいと考えている課題
1	貧困をなくそう	☐	☐	☐

2	飢餓をゼロに	☐	☐	☐
3	すべての人に健康と福祉を	☐	☐	☐
4	質の高い教育をみんなに	☐	☐	☐
5	ジェンダー平等を実現しよう	☐	☐	☐
6	安全な水とトイレを世界中に	☐	☐	☐
7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	☐	☐	☐
8	働きがいも経済成長も	☐	☐	☐
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	☐	☐	☐
10	人や国の不平等をなくそう	☐	☐	☐
11	住み続けられるまちづくりを	☐	☐	☐
12	つくる責任つかう責任	☐	☐	☐
13	気候変動に具体的な対策を	☐	☐	☐
14	海の豊かさを守ろう	☐	☐	☐
15	陸の豊かさを守ろう	☐	☐	☐
16	平和と公正をすべての人に	☐	☐	☐
17	パートナーシップで目標を達成しよう	☐	☐	☐
-	分からない	☐	☐	☐

5. SDGs への取組状況についてお伺いします。【必須回答】

5-1. SDGs について現時点で推進されていますか、もしくは推進していく予定がありますか？

- ☐ 推進している
- ☐ 今後推進していく予定である
- ☐ 今後推進を検討していく予定である
- ☐ 推進しておらず、今後当面推進していく予定もない

5-2. SDGs について推進している、又は推進していく予定である取組は以下のいずれに該当しますか？

※「地方創生に向けた自治体SDGs推進のあり方」コンセプト取りまとめ P17～19 をご参照ください。

1) 将来のビジョンづくり

例) 地域の実態の正確な把握、バックカスティングのアプローチを採用した 2030 年のあるべき姿の設定、ゴール・ターゲット等を参考とした政策目標の策定 など

- ☐ 推進している ☐ 推進していく予定である ☐ 推進していない

2) 体制づくり

例) 部局を横断する推進組織の設置、執行体制（人材、予算、権限、進捗管理等）の整備 など

- ☐ 推進している ☐ 推進していく予定である ☐ 推進していない

3) 各種計画への反映

例) 総合計画、地方版総合戦略、環境基本計画 など

☐ 推進している

☐ 推進していく予定である

☐ 推進していない

4) 関係者（ステークホルダー）との連携

例) 域内の連携（住民、企業・金融機関、教育・研究機関、NPO等）、自治体間の連携（国内）、国際的な連携 など

☐ 推進している

☐ 推進していく予定である

☐ 推進していない

5) 情報発信と成果の共有

例) 自治体内部における勉強会の開催、セミナー・シンポジウムの開催（主催、共催）、共有すべき成功事例の国内外への発信 など

☐ 推進している

☐ 推進していく予定である

☐ 推進していない

6) ローカル指標の設定

例) 自身の取組を的確に測定することができるローカル指標の設定 など

☐ 推進している

☐ 推進していく予定である

☐ 推進していない

7) その他

☐ 推進している

☐ 推進していく予定である

（ 500 字以内 ）

上記でご回答いただいた取組の具体的内容は、このアンケートの末尾（設問 10）でお聞きします。
ぜひご回答いただけますと幸いです。

6. SDGsに関する内閣府の取組についてお伺いします。【必須回答】

6-1. 政府（内閣府）が公募したSDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業をご存知ですか？

☐ 知っている

【→6-2.へお進みください】

☐ 知らない（今回の調査ではじめて認識した）

【→6-3.へお進みください】

6-2. SDGs未来都市・自治体SDGsモデル事業についてどこでお知りになりましたか？（複数回答可）

☐ 地方創生ホットライン（内閣府より発信）

☐ 内閣府ホームページ

☐ セミナー・シンポジウム

☐ テレビニュース

☐ 新聞（電子版含む）・本・雑誌

☐ SNS（例：Twitter, Facebook）

☐ ニュースアプリ

☐ その他（ 100 字以内 ）

6-3. SDGs未来都市選定（平成30年度）に応募しましたか？

☐ 応募した

【→6-4.へお進みください】

☐ 応募しなかったが、次回応募する予定である

☐ 関心はあったが応募できなかった

【→6-5.へお進みください】

☐ 応募しなかった

6-4. SDGs 未来都市選定に応募した理由は何ですか？（複数回答可）

- ☐補助金の制度があったため
 ☐ブランド力が魅力的だったため
 ☐予定していた既存の計画が
 応募要項に合致していたため
 ☐その他（ 100 字以内 ）

5 6-5. 6-3.で「応募した」以外を回答された方へ) SDGs 未来都市選定に応募しなかった理由は何ですか？
(複数回答可)

- 募集を知らなかった □補助金の活用が難しかった □ブランド力が魅力的でなかった
□申請が採択される見通しが立たなかった □予定していた計画又は既存の計画が募集要領に合
致しなかった □申請書類の作成に人員・時間を割けなかった

- 10 ☐ その他 (100 字以内)

6-6. 平成 30 年 8 月 31 日に、広範なステークホルダーとのパートナーシップの深化として、特に官民連携等を目的とした「地方創生 SDGs 官民連携プラットフォーム」

(参考：<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/kankyo/>)

- 15 が設立されました。同プラットフォームに入会していますか？

- ☐既に入会している
☐入会する予定である
☐今後入会を検討したい
☐現在のところ入会を検討していない

7. SDGs 推進に際しての課題や障壁（＝バリアー）についてお伺いします。【任意回答】

7-1. SDGs を推進する際に直面する（し得る）バリアーはありますか？（複数回答可）

- 1) 国や他の自治体に関連するバリアー

- ☐国等からの補助や支援が不足している
- ☐国や他の都道府県・市区町村との連携が不足している
- ☐国の方針が分かりづらいためどのように推進すればいいのか分からない
- ☐先行事例や成功事例がないためどのように推進すればいいのか分からない
- ☐国や地域全体の盛りに乏しい
- ☐その他（以下にご記述ください）

500 字以内

- ## 2) 自治体内部におけるバリアー

- ☐ 首長や議会の関心が低い
ため SDGs 推進の理解が得られない
- ☐ 自治体職員の関心が低い
ため SDGs 推進の理解が得られない
- ☐ 行政内部署間の職務分掌の問題や優先度をめぐる認識に差がある
- ☐ 行政内部での理解、経験や専門性が不足している
- ☐ 行政内部での予算や資源に余裕がない

☐ その他 (以下にご記述ください)

500 字以内

3) 国や自治体内部以外の他の関係者との連携に関するバリアー

- ☐ 地域住民の関心が低いため SDGs 推進の理解が得られない
- ☐ 市民団体/NPO の関心が低いため SDGs 推進の理解が得られない
- ☐ 地元企業・業界団体・金融機関の関心が低いため SDGs 推進の理解が得られない
- ☐ 専門家の支援が不足している
- ☐ その他 (以下にご記述ください)

10 (500 字以内)

8. SDGs を推進することで得られる利点についてお伺いします。【任意回答】

8-1. SDGs を推進することで得られる利点として、どのようなことを期待しますか？ (複数回答可)

- ☐ 住民の QOL の向上
- ☐ ローカルアイデンティティの開拓、地域活性化
- ☐ 経済・社会・環境政策の統合
- ☐ 国や都道府県・市区町村との連携の強化
- ☐ 自治体内における部局課間の連携の強化
- ☐ 民間企業・民間団体との連携強化
- ☐ 国際動向の把握
- ☐ 国際協力の推進
- ☐ 分からない
- ☐ その他 (以下にご記述ください)

25 (500 字以内)

9. SDGs の推進に向けた、政府の支援策としてどのようなものを望みますか？【任意回答】

9-1. SDGs に取り組むための情報提供等の整備に関して (複数回答可)

- ☐ SDGs の解説、理解促進のための情報の提供
- ☐ SDGs に取り組むためのガイドラインの提供
- ☐ SDGs の認知度向上に関する広報活動の展開
- ☐ SDGs に関する情報交換、情報共有のための場や機会の提供
- ☐ 分からない
- ☐ その他 (以下にご記述ください)

35 (500 字以内)

9-2. SDGs に実際に取り組む段階における支援に関して (複数回答可)

- ☐ モデル自治体の選定と集中的支援
- ☐ 先導的な取組に対する補助金の交付・税制優遇等

40

- ☐ 専門家や有識者の支援や助言
- ☐ 担当者向けの研修や学習機会の提供
- ☐ 先行事例や成功事例の取り纏めと共有
- ☐ 分からない

5 ☐ その他（以下にご記述ください）

500 字以内

10 9-3. 内閣府では、平成 31 年度予算概算要求に「地方創生に向けた自治体 SDGs 推進事業」を今年度に引き続き盛り込んでおりますが、【参考資料 1】(<http://www.cao.go.jp/yosan/juten/juten31/juten31-4.pdf>) の 5 ページに記載されている「自治体 SDGs モデル事業」を行う場合に活用されますか？

- ☐ 具体的な事業に積極的に活用したい ☐ 具体的な事業について状況に応じて活用したい
- ☐ 今後予定している事業に活用したい ☐ 今後活用を検討していく予定である

15 ☐ 今後活用していく予定もない

9-4. SDGs の推進に向けて、「地方創生に向けた自治体 SDGs 推進事業」以外の政府の平成 31 年度予算概算要求に盛り込まれている事業を活用されますか？

- | | | | |
|----|---|--------------------|---|
| 20 | ☐ 具体的な事業に積極的に活用したい
☐ 具体的な事業について状況に応じて活用したい
☐ 今後予定している事業に活用したい
☐ 今後活用を検討していく予定である
☐ 今後活用していく予定はない | {

} | 【→9-5.へお進みください】

【→10.以降へお進みください】 |
|----|---|--------------------|---|

25 9-5. 9-4.で、「今後活用していく予定はない」以外を選択された場合は、具体的な事業について、下記の記述欄にご記述ください。

500 字以内

30

10.5-1.で「推進している」、又は「推進していく予定である」と答えた方へ）【任意回答】
SDGs について推進している、又は推進していく予定の具体的な取組等についてお伺いします。ご関心のある方は、是非以下の設問にご回答ください。

10-1.貴自治体の SDGs についての自己認識の状況をご回答ください。

5 (1:興味がない 2:今後理解を深める予定である 3:十分に内容を理解している)

番号	質問	1	2	3
1)	SDGs は、「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」の骨格をなすもので、2030 年までに達成すべき開発目標であることを知っている。	☐	☐	☐
2)	持続可能な開発を目指す上で経済、社会、環境の統合が重要であることを知っている。	☐	☐	☐
3)	SDGs は先進国・途上国双方が取り組まなければならないものであることを知っている。	☐	☐	☐
4)	SDGs は 17 のゴール、169 のターゲット、約 230 の指標の 3 層構造で構成されることを知っている。	☐	☐	☐
5)	SDGs の 17 のゴールの内容を概ね理解している。	☐	☐	☐
6)	SDGs の 169 のターゲットに一通り目を通して、概ねその内容を理解している。	☐	☐	☐
7)	SDGs の 17 のゴールおよび 169 のターゲットの達成度を約 230 の指標によって測ることが求められていることを知っている。	☐	☐	☐
8)	SDGs の指標に関する最新情報を国連広報センターや国連統計局のホームページ等を参照して把握している。	☐	☐	☐
9)	SDGs の 17 のゴールの達成に向けて、自治体が果たすべき役割を理解している。	☐	☐	☐
10)	SDGs の達成に向けて自治体による貢献に大きな期待が寄せられていることを理解している。	☐	☐	☐
11)	SDGs への取組を推進するために政府が示した SDGs 実施指針に目を通し、内容を理解している。	☐	☐	☐
12)	SDGs のゴールやターゲットの中から自治体固有の事情にあわせた課題や目標、取組を選択する重要性を理解している。	☐	☐	☐
13)	SDGs の達成に向けた施策の推進によって、住民の QOL 向上、独自性のあるまちづくり、グローバル・パートナーシップの促進につながるなど、自治体にとって多くの利益を創出し得ることを理解している。	☐	☐	☐
14)	SDGs の達成に向けて、複数のゴールの解決に貢献するような相乗効果(シナジー効果)をもたらし得る取組を検討することが重要であることを理解している。	☐	☐	☐
15)	SDGs は複数領域にまたがる総合的な目標であり、その目標の達成に向けて 1 つの部署だけではなく、自治体内外の多様なステークホルダーと連携して取り組むべきであることを理解している。	☐	☐	☐
16)	SDGs 達成に取り組むことで、地方創生や社会貢献につながることを理解している。	☐	☐	☐
17)	上記の内容の理解が自身の所属する部署内で十分に進んでいる。	☐	☐	☐
18)	勉強会の開催等により、上記の内容の理解が複数の部署で十分に進んでいる。	☐	☐	☐

10-2. 貴自治体の SDGs に対する取組体制をご回答ください。

(1:取組の実施は予定されていない 2:取組を実施する予定がある 3:取組を実施している)

番号	質問	1	2	3
1)	SDGs の達成に向けた取組を統括する部署は決まっている。また、そのコンセンサスが得られている。	☐	☐	☐
1')	(10-2-1 で 2、3 と答えた方へ)SDGs の取組を統括する(予定)部署名をご記入ください。	[]		
2)	庁内の各部署・部門は自身の業務が SDGs のどのゴールに貢献し得るか自己点検をしている。	☐	☐	☐
3)	庁内の複数の部署間で SDGs に対する情報が共有され、自治体全体での取組として展開している。	☐	☐	☐
4)	SDGs の取組を統括する部署は政策の立案に際して SDGs をはじめとする国際的な動向に関心を持っている。	☐	☐	☐
5)	SDGs の取組を統括する部署は SDGs 達成に向けた取組のなかでローカル(地域独自)に行われる成功事例や先進的・実験的な動向に関心を持っている。	☐	☐	☐
6)	SDGs 推進に係わる関係者(ステークホルダー)の役割が明確になっている。	☐	☐	☐
7)	庁外の関係者(ステークホルダー)と SDGs に関する情報が共有され、協働する体制が整っている。	☐	☐	☐
8)	首長や各組織、各部署の責任者などによって SDGs に対する情報が共有され、各々の担当者の取組方針が決定している。	☐	☐	☐

10-3. 貴自治体の SDGs の取組に関する目標・指標設定についてご回答ください。

(1:取組の実施は予定されていない 2:取組を実施する予定がある 3:取組を実施している)

番号	質問	1	2	3
1)	SDGs の取組を統括する部署は、自治体固有の課題を整理している。	☐	☐	☐
2)	自治体固有の課題を整理した上で取り組み時の優先順位を検討している。	☐	☐	☐
3)	SDGs の取組を統括する部署は、自治体の固有の状況を踏まえつつ、自治体の課題に関連するゴール、ターゲットを選択し、政策目標として取り纏めている。	☐	☐	☐
4)	長期の政策目標を取り纏める際、2030 年(またはそれ以降)を見据えて、自治体として到達すべき(達成すべき)ビジョンを持っている。	☐	☐	☐
5)	長期の政策目標を受けて、具体的な達成目標を定めている。	☐	☐	☐
6)	定めた政策目標や達成目標が総花的で主張の不明瞭なものになっておらず、自治体の規模に合わせた選択と集中が図られている。	☐	☐	☐
7)	政策目標・達成目標の進捗状況を測るための指標を設定している。	☐	☐	☐
8)	設定した指標のデータ収集の目的がたっている(データの収集可能性について検討している)。	☐	☐	☐
9)	設定した指標の中に、多くの自治体がデータを収集していて相互比較ができるものがある。	☐	☐	☐
10)	設定した指標の中に、自治体のアイデンティティを表現することが可能な独自の指標が含まれている。	☐	☐	☐
11)	達成目標の具体化が行われている(将来達成したい水準:将来目標値が定められている)。	☐	☐	☐
12)	特に重要な指標(KPI)を定めるか否かについて検討している。	☐	☐	☐

10-4. 貴自治体の SDGs 達成に向けたアクションプログラムについてご回答ください。

5 (1:取組の実施は予定されていない 2:取組を実施する予定がある 3:取組を実施している)

番号	質問	1	2	3
1)	自治体のアクションプログラム(総合計画、地方版総合戦略、都市計画マスタープラン、環境基本計画等の各種計画)に SDGs への取組方針を盛り込み得るか検討している。	☐	☐	☐
2)	SDGs への取組方針をアクションプログラム(行動計画)として具体的に策定している。	☐	☐	☐
2')	(10-4-2 で 2、3 と答えた方へ)アクションプログラムが WEB に公開されていたら、URL をご記入ください。	[]		
3)	策定したアクションプログラムは自治体の優先順位等を十分に反映したものになっている。	☐	☐	☐
4)	アクションプログラムに関係する自治体職員やステークホルダーの SDGs 推進のための人材育成を実施している。	☐	☐	☐
5)	アクションプログラムの実施に向けて資金調達(自治体の財源確保や民間資金の活用)の目的がたっている。	☐	☐	☐
6)	自治体単独では解決できない課題の解決に向けて他の自治体との連携を検討している。	☐	☐	☐

10-5. 貴自治体のアクションプログラム実施後のフォローアップについてご回答ください。

(1:取組の実施は予定されていない 2:取組を実施する予定がある 3:取組を実施している)

番号	質問	1	2	3
1)	目標の達成状況を確認するフォローアップの会議を開催し、進捗状況を報告している。	☐	☐	☐
2)	部署の職員が異動した場合に備えてフォローアップの体制が整っている。	☐	☐	☐
3)	フォローアップで共有した課題は、次の施策検討にフィードバックされている。	☐	☐	☐
4)	目標の達成状況を確認するフォローアップに際して、事前に設定した指標の値を活用し、実施した取組の成果を評価している。	☐	☐	☐
5)	目標、指標の見直しの必要性等について検討を行っている。	☐	☐	☐
6)	成功した取組や予定通り進まなかった取組を市民へ周知、共有する体制は整っている。	☐	☐	☐
6')	(10-5-6 で 2、3 と答えた方へ)過去の取組が WEB に公開されていたら、URL をご記入ください。	[]		

11. 其他のご要望

今後、内閣府では自治体の SDGs の達成に向けた取組をさらに推進していく方針ですが、
SDGs に関して、詳しく知りたい点、ご意見・ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

5

[500 字以内]

アンケートは以上です。
ご協力、誠にありがとうございました。